

# 教育研究活動報告書

ふりがな 氏 名	むか い つね ひろ 向 井 常 博	所属・職名	学長
専門領域	分子生物学、生化学	学位称号	医学博士 1976 (昭和 51)
最終学歴	1976 (昭和 51) 九州大学大学院医学研究科生理系専攻 (博士課程) 修了		
資格・免許等	医師免許 昭和 43 年 (第 200921 号)		
教育上の能力に関する事項			
担当科目			
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等			
職務上の実績に関する事項			
国立大学法人佐賀大学理事 (平成 17 年 10 月～平成 21 年 9 月) 担当：医療、社会貢献、広報、安全管理、危機管理 他に男女共同参画関連、教員評価などを実施した。			
研究業績等に関する事項			
《 平成 19 年度～平成 23 年度 》			
著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<原著> 1. Retinoic acid receptor $\beta 2$ is epigenetically silenced either by DNA methylation or repressive histone modifications at the promoter in cervical cancer cells			
	共著	Cancer Lett. 247: 2, 318-327. 2007.	平成 19 年 2 月
2. Role of DNA methylation and histone H3 Lysine 27 methylation in tissue-specific imprinting of mouse <i>Grb10</i>			
	共著	Mol Cell Biol. 27: 2, 732-742. 2007.	平成 19 年 2 月
3. Japanese and North American/European patients with Beckwith-Wiedemann syndrome have different frequencies of some epigenetic and genetic alterations			
	共著	Eur J Hum Genet. 15:12, 1205-1210. 2007.	平成 19 年 12 月
4. MeXCP2 knockdown reveals DNA methylation-independent Gene repression of target genes in living cells and a bias in the cellular location of gene products			
	共著	Genes Genet. Syst. 83: 2, 199-208. 2008.	平成 20 年 2 月
5. Antisense transcription occurs at the promoter of a mouse imprinted gene, <i>Comdl</i> , on the repressed			
	共著	J Biochem, 146: 6, 771-774, 2009.	平成 21 年 6 月

paternal allele				
6. Aberrant methylation of H19 -DMA acquired after implantation was dissimilar in soma versus placenta of patients with Beckwith-Wiedemann syndrome	共著	印刷中		平成 24 年
<その他>				
1. エコアクション 21 の取組み	共同	文部教育通信 (教育新社) N		平成 21 年
2. 大学連携による地域振興～大学との連携を活かした地域づくり～ (パネルディスカッション)	共同	FURUSATO Vitalization 95:		平成 21 年
<学会発表>				
1. マウス Murr1/U2af1-rs1 領域のゲノムインプリンティング制御機構	共同	第 1 回エピジェネティクス研究会年会. 2007.		平成 19 年 6 月
2. MeCP2 による遺伝子発現制御の多面性	共同	第 1 回エピジェネティクス研究会年会. 2007.		平成 19 年 6 月
3. Multi-faced gene silencing mechanism of MeCP2	共同	The American Society of Human Genetics 57 <sup>th</sup> Annual Meeting. USA, 2007.		平成 19 年 10 月
4. ヒストンアルギニンメチル化酵素 CARM1 はリン酸化によって不活化される	共同	第 66 回日本癌学会総会. 2007.		平成 19 年 10 月
5. CARM1 の細胞周期特異的なリン酸化制御	共同	第 30 回日本分子生物学会年会、第 80 回日本生化学会大会合同大会 BMB2007.		平成 19 年 12 月
6. MeCP2 による多面的遺伝子発現制御機構	共同	第 30 回日本分子生物学会年会、第 80 回日本生化学会大会合同大会 BMB2007.		平成 19 年 12 月
7. MeCP2 represses gene expression by a methylation-independent or an indirect mechanism	共同	AACR annual meeting 2008.		平成 20 年 4 月
8. Imprinted non-coding RNA LIT1 is required for paternal repression of genes within human KIP2/LIT1 imprinted domain	共同	The 2008 EAUHGS symposium & the 8 <sup>th</sup> EAUHGS Annual Meeting. 2008.		平成 20 年 8 月
9. ヒト KIP2/LIT1 刷り込みドメインにおける ncRNALIT1 の及ぼす影響	共同	第 31 回日本分子生物学会年会、第 81 回日本生化学会大会合同大会 BMB2008.		平成 20 年 8 月
10. 「DNA メチル化を切り口にゲノムインプリンティングと出会って」	単独	第 3 回日本エピジェネティクス研究会年会 特別講演 東京 2009.		平成 21 年 5 月
研究助成等	なし			
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				

• 所属学会

日本分子生物学会会員 昭和 47 年度～ (1972～)

日本生化学会会員 昭和 47 年度～ (1972～)

日本人類遺伝学会会員 平成 10 年度～ (1998～) (評議員 2007 まで)

日本癌学会会員 平成 11 年度～ (1999～)

日本エピジェネティクス研究会会員 平成 19 年度～ (2007～) (幹事)

• 独立行政法人 科学技術振興機構 戦略的創造研究事業 さきがけ「エピジェネティクスの制御と生命機能」研究総括 平成 21 年度～ (2009～)

• 佐賀県神埼市行政改革推進委員 平成 24 年度～26 年 (2012～2014)